

北部病院だより 第133号(2019.7)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】 こどもセンター 新体制について
【医学講座コーナー】 肝臓がん
【TOPICS】 医学部生向け「病院見学会」
【TOPICS】 世界トライアスロンシリーズ横浜大会
【TOPICS】 がん相談支援センターについて
【TOPICS】 がんサロンのご案内
【TOPICS】 ロビーコンサートのご案内
【医師の配属・異動・退職】
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【TOPICS】 栄養科だより
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

巻頭言 こどもセンター 新体制について

暑さも一段と増してくる季節となりました。昭和大学横浜市北部病院こどもセンターは本年4月から新体制として出発して、早くも3カ月が経過しようとしています。新体制構築にあたり、昭和大学病院、藤が丘病院、江東豊洲病院の全付属病院から小児科医を派遣してもらい、総勢25名の小児科（内科）医、小児外科医、新生児科医が結集し、特に若い力を中心として日々こども達の診療に邁進しております。



こどもセンター

池田 裕一 教授（中央）

当院は横浜市の小児救急拠点病院の1つであり、横浜市北部地域においては横浜労災病院と共に小児の救急医療の中核を担っています。近年は日本全国で少子化が進行していますが、このエリアでは依然として小児人口の割合が多く、減少幅も小さい傾向があります。そのため、深夜休日を問わず多くの患者さんが来院し、更に北部病院は周辺からのアクセスも良いため24時間365日救急車が途切れることはありません。

2018年度は救急患者数3,420名、救急車受け入れ台数1,356台、入院患者数は小児科1,461名、小児外科233名、新生児355名でした。このように医局員は日々の業務に多忙を極めていますが、医局員の健康と生活を守るために働き方改革も同時に行なっています。当センターは女性医師が1/3を占め、男性医師も子育てに積極的に関わっており、ワークライフバランスの確保が欠かせません。そのため、時間外会議などの見直し、当直翌日のオフタイムの確保、残業時間の削減、有給休暇の確実な取得などを積極的に進め、各医師の健康とモチベーションを保ちつつ、持続可能な小児救急医療を第一に考えて方策を取っております。

小児内科では乳幼児の入院数が最も多く、疾患の内訳は肺炎や気管支炎に代表される呼吸器感染症が最多、次に熱性けいれんなどのけいれん性疾患、尿路感染症、川崎病、髄膜炎などです。さらに、本年度からは腎臓病専門医（小児科）が計4名配属されたことにより、腎炎やネフローゼ症候群、排尿障害なども積極的に受け入れています。今後はこどもの腎生検や血液浄化療法にも取り組んで参ります。

小児外科は脳神経、眼、耳鼻咽喉、心臓、骨などを除く幅広い領域の外科的疾患を扱います。外科ですので、当然、手術を専門としていますが、我々は、常に「お子さんにとってベストな治療法は何か？」を考え、手術を目的として小児外科を受診された場合でも、本当に手術が必要かどうかを再検討し、手術以外の保存的療法をお勧めする場合もあります。また、お子さんの負担が少ない鏡視下手術や小切開手術を積極的に行っています。特に、小児外科で最も手術数が多い鼠径ヘルニア（脱腸）の手術は、細径器具（3mmのカメラと2mmの鉗子）を使用した腹腔鏡下手術を行い、極めて良好な整容性を得ています。

新生児科は、主に生まれたばかりの赤ちゃんを対象にしております。コウノドリというドラマを通して、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。ここ都筑区は、横浜市内でも出生数が多いエリアであり、更に当院は、地域周産期母子医療センターとして、横浜地区の中核病院の役割を担っています。新生児病棟は、出生体重が1,000g未満の超低出生体重児や、出生後に疾患を持った新生児を対象にしています。このような赤ちゃんたちに最善の治療とケアを提供するためには、他職種との連携が欠かせません。当センターは昭和大学の特徴であるチーム医療を実践して地域医療に貢献して参ります。

医学講座コーナー 肝臓がん

【概念】 肝臓には肝臓から発生した原発性肝癌と他臓器の癌が肝臓に転移した転移性肝癌があります。原発性肝癌の約90%を肝細胞癌が占め、残り約10%のほとんどが胆管細胞癌です。一般的に肝臓癌というと肝細胞癌を指します。

【病因】 肝細胞癌は慢性肝疾患を背景に発生します。主な要因はB型肝炎ウイルスあるいはC型肝炎ウイルスの持続感染です。以前はB型、C型肝炎ウイルス感染が80%を占めていました。近年、抗ウイルス療法の進歩により肝炎ウイルス感染を伴わない肝細胞癌が増加しており、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）が注目されています。高齢女性、メタボリックシンドローム（特に2型糖尿病の合併）、肥満、長期にわたる肝機能異常、AST/ALT $\geq$ 0.8、血小板 <20 万/ μ Lは注意が必要です。



消化器センター
馬場 俊之 准教授

【疫学】 肝臓癌による死亡者は減少傾向にありますが、年間3万人を超えており、肺癌、胃癌、大腸癌に次いで4位です。B型慢性肝疾患ではウイルス量が多くなると共に肝細胞癌の発生率（発癌率）も増加します。C型慢性肝疾患では線維化の段階（F1～F4）に応じて発癌率は増加し、F4（肝硬変）における年間発生率は7～8%といわれています。なおHBV感染者は120万人、HCV感染者は150万人と予測されていますが、医療機関を受診している患者さんは30～40%であり、より一層の啓蒙が必要です。

【症状】 肝細胞癌は進行していても自覚症状がないことが多く、定期的な検診や他の病気の検査のときに偶然発見されることも少なくありません。

【検査】 超音波（エコー）検査、CT検査、MRI検査などの画像検査と腫瘍マーカー検査により診断します。超音波検査は侵襲がなく簡便にできるというメリットがあり、肝臓のスクリーニングには有意義な検査です。CT検査はX線により体の断面を撮影する検査ですが、慢性肝疾患や肝細胞癌を詳細に調べるには、ヨード造影剤を用いた造影CT検査を行います。MRI検査は磁場により画像を作成しますが、新しい造影剤を用いたEOB-MRIにより、これまで見つけられなかった肝細胞癌が診断できるようになりました。補助診断として有用な腫瘍マーカーにはAFP、PIVKA-II、AFP-L3分画があり、腫瘍が小さい場合には2種類以上の腫瘍マーカーを測定することが推奨されています。

【治療】 肝細胞癌の病期（ステージ）は肝細胞癌の大きさ、個数、脈管浸潤、肝外転移などにより決定します。一方、肝細胞癌の治療は日本肝臓学会が作成した“肝癌診療ガイドライン”に従い、肝予備能と肝細胞癌の進行度により治療を決定します。肝切除、ラジオ波焼灼療法（RFA）、肝動脈化学塞栓療法（TACE）、最近では分子標的薬による薬物療法が主な治療ですが、肝移植、放射線治療が行われることもあります。

【予防】 肝炎ウイルス感染を早期に知ることは重要な予防の一つです。保健所や医療機関で肝炎ウイルス検査を受けましょう。B型、C型肝炎ウイルス感染者では肝細胞癌の予防としてウイルスの排除や増殖を抑える薬を用いた抗ウイルス療法が勧められています。またB型肝炎ウイルスはワクチンで感染が予防できます。これまで医療従事者等に任意接種が行われてきましたが、2016年より全出生児に定期接種が始まりました。NASHでは食事療法、運動療法など生活習慣の改善が大切です。NASHで肥満がある場合には体重の7%を目標に減量し、徐々に標準体重を目指すことが勧められます。いずれにしても、肝機能異常や肝炎ウイルスの感染を指摘された場合は、医療機関を受診することをお勧めします。

TOPICS 医学部生向け「病院見学会」

6月1日（土）、初夏を思わせる日差しの中で、今年も昭和大学横浜市北部病院見学会を開催いたしました。本年は38名（学内21名、他大17名）の方々にお越しいただきました。

成島臨床研修管理委員長による挨拶に始まり、馬場臨床研修コーディネイト委員長から当院の概要や初期臨床研修プログラムの説明、当院で初期臨床研修後に産婦人科プログラムの専攻医1年次茨城助教(医科)から【医師による体験談】、臨床研修1年次金児先生から【臨床研修医からのメッセージ】と題し語ってもらいました。見学者たちは将来の自分たちを重ねたように、真剣に耳を傾けていました。休憩をはさみ、5班に分かれての施設見学を行いました。各班に1人ずつ研修医がつき、救急外来や病棟、世界に誇る内視鏡センターや研修医自身が住む寮を見学し目を輝かせていました。

施設見学後は、研修医を囲んでの座談会を行いました。日ごろの疑問やなかなか聞きづらい部分まで質問し、それぞれの疑問は解消できたようでした。また、他の見学者との情報交換も進み、懇親会では出身を問わず、和やかな雰囲気の中、盛況のうちに終了しました。ご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。当院では、7月初旬に新たな相談会を開催予定です。今回、見学会に参加できなかった方、見学会に出席はしたけれど、まだまだ聞き足りないことがある方などなど、参加を希望される方は当院からの今後のお知らせにご注目ください。

また、当院では毎月、病院長・臨床研修管理委員長・臨床研修コーディネイト委員長が出席し、研修医の先生との昼食会（ランチョンセミナー・ランチョンミーティング）を開催して、初期研修の一層の充実を図っています。お昼ごはんを食べながら、研修医たちの研修状況や生活のこと、抱えている不安や今後の希望等を、談笑を交えながら話し合いの機会を設けております。加えて、日本医療教育プログラム推進機構の主催する「総合診療スキルアップセミナー」に研修医を毎月2名派遣し、学外に研鑽の場を設け、他よりも一つ先んじた研修を行っています。



〈臨床研修管理委員長によるご挨拶の様子〉



〈懇親会の様子〉



〈ランチョンミーティングの様子〉

当院は臨床研修指定病院となっております。臨床研修とは、良質な医療を安定的に供給できるよう、卒業直後の医師に幅広い臨床の基本的な能力を身につけさせるという趣旨によるものです。

救急外来を受診される患者さんの初期対応を上級医指導のもと研修医も行います。当院では4月より以下24名の初期臨床研修医が日々現場で研鑽を積んでおります。臨床研修医の教育を行うためにも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【2019年度採用臨床研修医】

・ 大久保 文子 東海大学	・ 舘野 桂 昭和大学	・ 諸富 進一郎 東京医科大学
・ 岡田 桃華 東京女子医科大学	・ 谷本 翔太 昭和大学	・ 渡辺 拓哉 昭和大学
・ 小澤 秀太郎 昭和大学	・ 中川 沙恵 昭和大学	・ 高倉 寧莉 聖マリアンナ医科大学
・ 加賀谷 聡志 昭和大学	・ 沼尻 嵩生 昭和大学	・ 豊島 大貴 昭和大学
・ 勝盛 雅史 昭和大学	・ 平井 颯 昭和大学	・ 藤川 健太郎 昭和大学
・ 櫻井 裕 埼玉医科大学	・ 古田 祐樹 秋田大学	・ 矢野 央子 昭和大学
・ 櫻井 佑斗 昭和大学	・ 松土 昇平 昭和大学	
・ 柴田 耕暉 昭和大学	・ 丸岡 慎太郎 東京大学	計 24名
・ 仙波 重則 昭和大学	・ 三好 直人 昭和大学	

TOPICS 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

「2019ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」に参加しました。

5月18・19日に行われた「2019ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」に医療スタッフとして医師、看護師が参加しました。

このシリーズは、毎年横浜で開催され当院と昭和大学藤が丘病院の医療スタッフが延べ30名派遣されております。両日とも晴天に恵まれ、大きな事故もなく無事終わることができました。



〈医療スタッフの皆さん〉



〈初日〉



〈2日目〉

TOPICS がん相談支援センターについて

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院以外の方の相談もお受けしています。

受付時間

月～土曜日（祝日除く）

8：30～17：00

対応時間

月～金曜日（祝日除く）

8：30～17：00

場所

中央棟1階 総合相談センター（総合案内隣）



TOPICS がんサロンのご案内

日時：2019年7月18日（木）14：00～16：00

場所：当院 中央棟9階 大会議室

テーマ：放射線治療について

担当者：診療放射線技師

皆さまのご参加をお待ちしております。



TOPICS ロビーコンサートのご案内



ロビーコンサートを開催いたします。
多くの方にお越しいただけることをお待ちしております。

日時：2019年7月18日（木）19：00～（予定）

※院内掲示のポスターをご確認ください。

場所：中央棟1階 会計前ロビー



演奏者：【なないろ】今澤由香里、小野美喜、木村美枝子、島村佳世子
（歌・ピアノ・ヴァイオリン）

いろいろな色を感じて頂けるような演奏を目指して、2012年から活動を始めました。

ロビーコンサートへの出演は、今回で12回目になります。

…聴いてくださる方がどうか笑顔になりますように…それが私たち「なないろ」の願いです。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属施設から】

・佐藤 芳憲	（内科）	藤が丘病院 腎臓内科から	2019年7月1日付
・加藤 雅典	（内科）	江東豊洲病院 内科から	2019年7月1日付
・箱崎 智樹	（消化器センター）	昭和大学病院 消化器・一般外科から	2019年7月1日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・山本 真寛	（内科）	藤が丘病院 腎臓内科へ	2019年7月1日付
・富岡 幸大	（消化器センター）	昭和大学病院 消化器・一般外科へ	2019年7月1日付
・鈴木 洋久	（メンタルケアセンター）	東病院 精神神経科へ	2019年7月1日付

患者さんからのご意見・ご要望

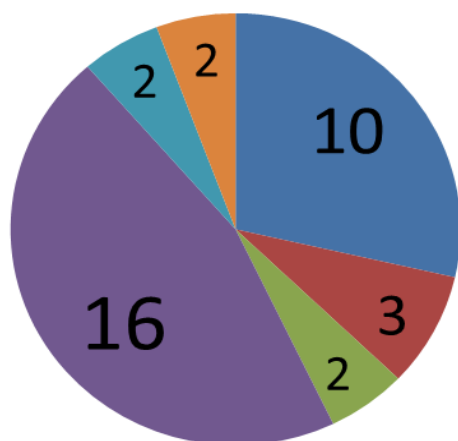
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<環境について> 軽食の自動販売機を設置してほしい。	食品の自動販売機設置につきましては今後病院内の会議にて検討させていただきますが、食品は飲料に比べて賞味期限が短いため、売店(ローソン、タリーズ)や病棟訪問している移動販売もご利用してみてください。
<環境について> 西棟への時間外受付が遠くてとても不便。	時間外受付の場所について検討した後、現在の設置場所となっておりますが、他の場所への設置も再度検討してまいります。

2019年5月 ご意見・ご要望の統計 35件



- 接遇・マナー
- 診療内容
- 運用・サービス
- 環境
- 感謝
- その他

診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2018年5月(入院:31日・外来:24日)、2019年5月(入院:31日・外来:22日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2018年5月	17,979人(580.0人)	26,382人(1,099.3人)	458件(15.3件)	741件(35.3件)
2019年5月	17,491人(564.2人)	25,239人(1,147.2人)	537件(17.9件)	686件(36.1件)

TOPICS 栄養科だより

7月7日は七夕です。七夕は、中国から伝わった五節句の1つ。五節句は五節供とも書き、1年間の5つの節目の事を指します。最近では、七夕の日は「そうめんの日」と言われていますが、なぜ七夕の日にそうめんが食べられるようになったか。その歴史は、平安時代にまでさかのぼります。

その時代に、中国から伝わった無病息災の願いを込めた七夕にお供えする料理の1つとして、索餅(さくべい)と言うものがありました。小麦粉と米粉を混ぜて細く伸ばしたもので、それが進化してそうめんになったと伝えられています。

当院も、7月7日夕食に七夕献立を提供させていただきます。具沢山なちらし寿司。天の川に見立てた清汁。さっぱりとした食感の冬瓜の煮物と、オクラの和え物。デザートも、さわやかな味わいのゼリーをご用意させていただきます。

暑さがいよいよ厳しき折、お体に気をつけてお過ごしください。



〈昨年度の七夕献立〉

編集後記

元号が「令和」となってから早2ヶ月以上がたち、本格的な夏の到来となりました。

7月の行事の一つに七夕があります。もともとは中国から伝わった五節句のひとつで民衆に広まったのは江戸時代からと言われています。笹に短冊を吊るしに願い事をするようになったのは、このころから手習いごとや、寺子屋で学ぶ子が増え、星に上達を願うようになったそうです。古来より笹は根強さ、繁殖力、雨風にも強いことから魔除けになる神聖なものとして扱われてきて、また天に向かって真っすぐ伸びるため願いが天に届くと考えられていたようです。当院でも毎年笹と短冊を用意しており恒例の行事となっております。各地でも色々な七夕祭りが行われています。足を運んでみてはいかがでしょうか。

〈臨床病理検査室 十良澤 智子〉



北部病院だより 第133号

2019年7月1日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。